

第3学期を迎えて

令和4年1月11日（火曜日）

「冬休みが終わり、1年間の中で最も期間が短い第3学期（1～5年生は52日、6年生は49日）が始まりました。

新型コロナウイルスの変異株「オミクロン」の世界的な広がりとともに、日本においても、「まん延防止等重点措置」が発令された地域があるなど、今後も感染防止に向けた対策が継続されていくことと思われます。

昨年度、5年生の林間学校や6年生の修学旅行をはじめとする、各学年での校外学習が中止となり、子供たちの思い出作りとなるはずであった貴重な機会が失われてしまいました。これは、「子供たちにより多くの活動の場面を設けてあげたい」ということで、この行事の実施に向けて事前の予察等を含めた様々な準備をしてきた教職員にとっても、大変残念な出来事でした。

しかしながら、今年度は全学年において集団宿泊的行事である修学旅行をはじめとする校外学習が実施できたことで、子供たちの嬉しそうな姿をたくさん見ることができたとともに、たくさんの思い出も作ってあげることができたのではないかと考えています。

※5、6年生は2回目の校外学習を2月に予定しております。

先日の始業式の中で、「3学期は、1年の中で一番短い学期ですが、1年間のまとめとして、また、来年度に向けての準備をする学期として、最も大切な学期になります。また、3学期は、1年間の中で一番大きな行事である卒業式が行われます。6年生は、小学校生活最後であり、最大の行事である卒業式に向けて、そして、新たに中学生になることに対しての意識を高めていくために重要な学期です。5年生にとっては、6年生から引き継いで、小学校での最高学年になるための心の準備をしていかなければならない学期です。」という話をしました。

ご存じのように、本校では全学年においてクラス替えをすることになります（今年度につきましては、現6年生のみが持ち上がりでした）。この3学期の中で、今までと同じように、また、今まで以上に楽しい学校生活を送れるように、先生や友達と共にお互いのことを大切に、協力し合いながら、学級の仲間や担任の先生との絆を更に深めていってほしいと思っています。

学校では、これからも新型コロナウイルス感染防止対策に努めて参りますが、各ご家庭におかれましても、ご家族の皆様の体調管理には十分ご留意されてお過ごしください。